

新興国レポート

インド株式 (SENSEX指数) が初の6万台乗せ

新型コロナウイルス感染の落ち着きやインフレ懸念の後退等が支援材料に

- ▶ 9月24日のSENSEX指数は60,048.47と、初の6万台に乗せて引けた。
- ▶ 年初来のインド株式のパフォーマンスは、先進国株式や新興国株式を上回る。
- ▶ 予想PER (株価収益率) 水準等から見て、インド株式は割高感を強めつつあるように思われる。
- ▶ 新型コロナウイルスの感染状況や物価動向等によっては、インド株式の上値が重くなる可能性も。

(1) SENSEX指数が初の6万台乗せ

- 9月24日のSENSEX指数は60,048.47と初の6万台に乗せ、史上最高値を更新して引けました (図表1)。5月に一時40万人近くに達した新型コロナウイルスの新規感染者数 (7日間平均) は9月24日時点では3万人程度に減少しています。ワクチン接種も進んでおり、9月24日時点では国民の約半数が少なくとも1回の接種を終えています。感染の落ち着きによる経済活動の正常化見通し等が株価上昇のけん引役になっているものと思われま。8月の消費者物価上昇率が前年同月比+5.3%と4ヵ月ぶりの低水準となり、インフレ懸念が後退しつつあることも好感されているようです。

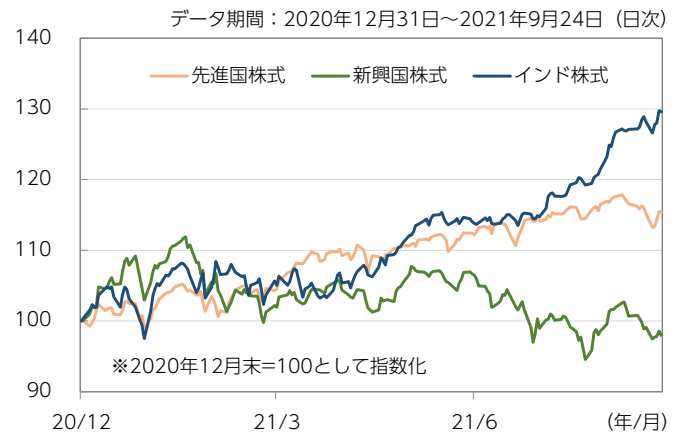
図表1：SENSEX指数の推移



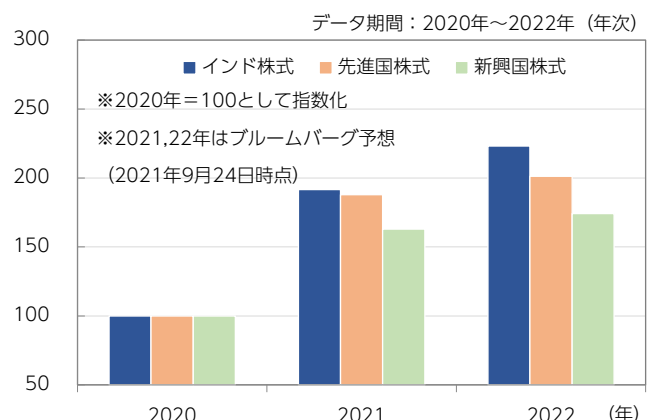
(2) 先進国株式や新興国株式を上回る

- インド株式のパフォーマンスは、先進国株式や新興国株式を上回っています。9月24日時点の年初からの騰落率を見ると、先進国株式が+15.4%、新興国株式が-2.0%であるのに対し、インド株式は+29.6%となっています (図表2)。インド経済や企業業績の先行きに対する期待感が影響しているものと思われま。
- IMF (国際通貨基金) の7月時点の世界経済見通しによると、インド経済の成長率 (実質GDP成長率) は2021年度が前年度比+9.5%、22年度が同+8.5%と、新興国を含む主要国の中で最も大きくなると予想されています。また、9月24日時点のブルームバーク予想によると、インド株式の2022年のEPS (1株当たり利益) は2020年比2.2倍に拡大し、その幅は先進国株式の同2.0倍や新興国株式の同1.7倍を上回ると見られています (図表3)。

図表2：インド株や先進国株式等の推移



図表3：EPS (1株当たり利益) 比較



(注) 本文の (2) 及び (3)、図表2及び3の使用指数
 インド株式：MSCI India指数、先進国株式：MSCI World指数
 新興国株式：MSCI Emerging Markets指数

出所) 図表1～3はブルームバークのデータをもとに
 ニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>